

# かくだ市議会だより



## 第396回定例会

- 質疑・討論 …………… 2～3
- 議案審議結果 …………… 4
- 予算審査特別委員会 …………… 5
- 一般質問 …………… 6～11

## 角田市議会から

- 議員定数を2人削減し「16人」へ ……11
- 議会日誌 ……………11
- 農林業系廃棄物の試験焼却を調査 ……12
- 風しんの抗体検査・予防接種 ……12

## 【今号の表紙】『水仙の咲く頃』

畑の土手に一斉に咲いた水仙を見つけました。

《撮影》角田市角田 石原 三雄さん

撮影日：2018年4月10日 場所：横倉地内

### 表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト等募集」をご覧ください。



第396回  
2月定例会

議案  
第2号

一般会計補正予算(第5号)

第396回定例会は2月19日から3月15日までの25日間の会期で開かれました。

一般質問では10人の議員が、市政全般にわたり論戦を繰り広げました。

市長から提案のあった東根財産区管理委員の選任、条例の制定・改正、補正予算、新年度予算などの議案32件を原案のとおり同意・可決し、人権擁護委員の候補者の推薦に係る諮問1件を適任と答申しました。

また、議員提出議案が3件提出され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

※本会議が2月~3月に行われたため、5月1日以降の元号については「令和」に読み替えてください。

角田中央公園南側駐車場等整備

角田市総合体育館南側用地3,715㎡を購入し、駐車場等を整備するため、2,102万8千円追加するもの。

**問** なぜ、このタイミングに駐車場の整備が必要になったのか。

**答** 平成31年度の1年間に、角田中央公園施設において実施予定の各種大会やイベントの開催予定日数は21日間となり、そのうち8日間は、来場する車両台数が既存の公園駐車場の駐車台数を上回る見込みである。また、角田中央公園の利用者が、4月にオープンする道の駅かくだの駐車場を使用してしまう恐れもあることから、駐車場不足の解消を図るためである。

子育て世代包括支援員・主任放課後児童支援員等報酬

子育て世代包括支援員・主任放課後児童支援員等について、人員が確保できなかったことにより、報酬を67.6万円減額するもの。

**問** 各種支援員が確保できなかった要因は。

**答** 子育て世代包括支援員報酬は、4月から任用し事業展開を目指していたが、応募が無く任用できなかった。

主任放課後児童支援員は、当初、配置が望ましい5人分の報酬を予算計上していたが、

任用が3人にとどまった。人数の不足分については、予算の範囲内で国の基準に従い「補助員」を配置して対応した。

反対討論……日下 七郎

減額補正に着眼すると、地域おこし協力隊を3人募集し、2人のみの採用。子育て世代包括支援員等については、応募する方がいなかった。当初計画どおりに予算執行されていない。

また、角田中央公園南側駐車場等整備について、このような事業は、長期総合計画等に載せ、土地収用法の許可を受け、当初予算で計上すべきである。

賛成討論……星 守夫

補正予算の概要を詳細にわかり説明を受け、理解した。特に角田中央公園南側駐車場等整備の追加補正は、今ま

一般・特別会計補正予算一覧

(単位:千円)

会計区分	補正額(2月)	補正後の額	
一般会計	30,917	13,682,655	
特別会計	国民健康保険事業	20,311	3,460,029
	後期高齢者医療	-5,831	338,128
	介護保険	27,629	3,136,598
	公共下水道事業	-96,523	1,490,224
	農業集落排水事業	-209	107,416

一般会計の主な補正予算項目

歳入(収入) (単位:千円)

項目	補正額
固定資産税	38,000
ふるさと納税寄附金	50,000

歳出(支出) (単位:千円)

項目	補正額
障害者総合支援事業	40,680
ふるさと納税事業	25,000

反対討論……小湊 毅

での最大イベント時で駐車スペースが不足していたことを考慮し、道の駅かくだにきたお客様の駐車スペースに影響しないよう整備するものであり、評価する。

角田市総合体育館に隣接する三角形の土地を購入し、砂利敷きの駐車場を新設するものと説明があった。財政状況が厳しいと市長はじめ、当局の方は何かあるたびにおっしゃるが、そのような財政状況の中、現状の駐車場の利用状況を調査せず、一度、道の駅対象区域から外した区画を公園整備事業として駐車場にすることは、到底、賛同できない。

東根財産区管理委員の選任

- 再阿部 實(坂津田中行政区)
- 再大槻 一郎(坂津田下行政区)
- 新館内 好広(平貫上行政区)
- 再長谷川憲夫(平貫下行政区)
- 新庄司 久男(東小坂行政区)
- 再遠藤 孝二(西小坂行政区)
- 新齋藤 勤(鳩原行政区)
- 任期 平成31年4月1日、平成35年3月31日

人権擁護委員の候補者の推薦

- 再荒井 秀一(藤尾3区行政区)
- 新毛利 正子(寺前行政区)
- 新毛利美貴子(枝野7区行政区)
- 任期 平成31年7月1日、平成34年6月30日

※●は新任 ㊦は再任の略



議案  
第17号

## 角田市道路占用料条例等の一部改正

消費税率引き上げ実施時期が本年10月1日とされたことから、税負担の円滑・適正な転嫁を基本として対処する国の考え方を踏まえ、課税対象となる使用料等の消費税等分を引き上げるもの。また、併せて公の施設の使用料が、適正な受益者負担となるよう見直しをするため、所要の改正を行うもの。施行期日は、平成31年10月1日。

### 総務財政常任委員会での質疑

**問** 市民センター使用料を値上げすることは、社会教育に対する影響があるのではないか。

**答** 社会教育は、学びを通しての人づくりや、人との繋がりが持てるという強みがあり、また、地域づくりに多大に貢献している。  
状況に応じて、市民センターや自治センター等を使い分けており、あまり影響はないと考える。

### 本会議における討論

**反対**……日下 七郎

消費税10%に増税する法律は、複雑で負担感・不公平感も強い。大企業に中小企業並みの法人税を課せば消費税増税分の財源は確保できる。角田市は消費税の納税義務はなく、各種使用料の値上げを選択すべきでない。

**賛成**……星 守夫

今回の使用料の見直し

### 今回改正となる使用料一覧

- ・道路占用料
- ・市民センター使用料
- ・公園占用等・野球場・陸上競技場・屋内温水プール・中央公園テニスコート・台山公園テニスコート・市民ゴルフ場・あぶくまパークゴルフ場使用料
- ・老人福祉センター使用料
- ・行政財産目的外使用料
- ・公共物使用料
- ・婦人研修センター使用料
- ・総合体育館使用料
- ・郷土資料館観覧料
- ・下水道使用料
- ・農業集落排水処理施設使用料
- ・角田駅コミュニティプラザ使用料
- ・水道料金・水道加入金・開発負担金
- ・ふれあい農園使用料
- ・スポーツ交流館使用料
- ・スペースタワー・コスモハウス使用料
- ・道の駅かくだ使用料

議案  
第19号

## 市立学校条例及び児童厚生施設条例の一部改正

平成31年1月4日に策定した「角田市保育施設等統廃合基本計画」に基づき、平成33年3月31日をもって、公立幼稚園（枝野幼稚園・西根幼稚園）及び角田児童センター以外の児童館等を廃止するため、所要の改正を行うもの。施行期日は、平成33年4月1日。

### 教育厚生常任委員会での質疑

**問** 住民から提出のあった嘆願書（枝野幼稚園の継続を求める要望）は、どのように取り扱ったのか。

**答** 枝野幼稚園の存続について、多くの声をお寄せいただいたことは、とても重く受け止めている。その上で、最終的には、1月4日に策定した角田市保育施設等統廃合基本計画は、この計画自体が角田市の次の世代の子ども達が健やかに成長するために、家庭・地域・行政・民間にできることを考慮し、総合的に判断したもので、苦渋の決断であったということ、嘆願書の代表者である枝野小学校父母教師会会長の方をはじめ3人の方に直接お会いし、内容を説明したところである。

### 本会議における討論

**反対**……八島 定雄

個別最適が全体最適の支障となるといった総務省自治体戦略2040構想の報告書の先取りではないか。角田市全体のことを考え、枝野・西根幼稚園を廃止するという考え方は、公共施設の統廃合・廃止は、生活が不便となり、更に人口減少を招き、悪循環に陥る。

**賛成**……星 守夫

角田市保育施設等統廃合基本計画に基づき条例改正が行われている。今後、子育て支援のために、市内保育園や認定こども園等の安定的な経営を支援していく市の方針であり、理解する。

**反対**……武田 曉

中心市街以外には保育幼稚園教育施設がなくなる。本来は周辺部のコミュニティづくりの未来像を示し、市民との広い意見交換に十分な時間を割くべき。情報提供から約4カ月という短期間に結論を出すことは、市民の政治参画機会を奪っている。

**反対**……相澤 邦戸

二年后に公立幼稚園・児童館等全て廃止としたが、地域の方々と十分話し合いを持ち、統合も検討すべきだ。子ども達の教育・保育については、子どもを主体に考えるべき。児童館の自由来館も子ども達の遊び場として2カ所くらい地域に残すべきである。

議案審議結果一覧

●賛成と反対がわかれたもの

○…賛成 ×…反対 -…退席又は欠席

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果 (賛成:反対)	市民クラブ				志政クラブ				日本共産党 角田市議員団		創生会		無会派			
					高橋力雄	湯村勇	星守夫	細川健也	堀田孝一	八島利美	武藤広一	黒須貫	日下七郎	八島定雄	武田曉	小湊毅	馬場道晴	渡邊誠	相澤邦戸	小島正
第396回定例会	市長	議案第2号	平成30年度角田市一般会計補正予算(第5号)	可決(10:4)	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
		議案第9号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決(12:2)	○	○	○	—	○	○	○	—	×	×	○	○	○	○	○	○
		議案第11号	職員の給与に関する条例の一部改正について	可決(12:2)	○	○	○	—	○	○	○	—	×	×	○	○	○	○	○	○
		議案第17号	角田市道路占用料条例等の一部改正について	可決(13:2)	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
		議案第19号	市立学校条例及び児童厚生施設条例の一部改正について	可決(10:5)	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○
		議案第22号	平成31年度角田市一般会計予算	可決(11:4)	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
		議案第23号	平成31年度角田市国民健康保険事業特別会計予算	可決(13:2)	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
		議案第24号	平成31年度角田市後期高齢者医療特別会計予算	可決(13:2)	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
		議案第25号	平成31年度角田市介護保険特別会計予算	可決(13:2)	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	議員	議案第1号	角田市議会議員の定数に関する条例の一部改正について	可決(13:2)	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

議長(柄目孝治)は採決に加わらない。

●全員が賛成したもの

会議名	提出者	議案番号	件名	
第396回定例会	市長	議案第1号	東根財産区管理委員の選任について	
		議案第3号	平成30年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	
		議案第4号	平成30年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	
		議案第5号	平成30年度角田市介護保険特別会計補正予算(第5号)	
		議案第6号	平成30年度角田市公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)	
		議案第7号	平成30年度角田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	
		議案第8号	角田市文化財保護基金条例の制定について	
		議案第10号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	
		議案第12号	一般職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	
		議案第13号	角田市出産祝金支給条例の一部改正について	
		議案第14号	角田市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正について	
		議案第15号	角田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
		議案第16号	角田市交通安全指導員条例の一部改正について	
		議員	議案第18号	角田市消防団に関する条例の一部改正について
			議案第20号	角田市文化財保護条例の一部改正について
	議案第21号		角田市水道事業に係る布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正について	
議案第26号	平成31年度角田市公共下水道事業特別会計予算			
市長	議案第27号	平成31年度角田市農業集落排水事業特別会計予算		
	議案第28号	平成31年度角田市東根財産区特別会計予算		
	議案第29号	平成31年度角田市水道事業会計予算		
	議案第30号	角田市道路線の認定について		
	議案第31号	仙南地域公立認可保育所の相互利用に関する協定の廃止に関する協議について		
	議案第32号	平成31年度角田市一般会計補正予算(第1号)		
	諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について		
	議案第2号	角田市議会委員会条例の一部改正について		
	議案第3号	小・中学校全学年で少人数学級の編制基準を8人から6人にすることを求める意見書の提出について		

皆さんからの陳情

●全国知事会の「米軍基地負担に

関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを求める意見書の提出を求める陳情

大阪府豊能郡能勢町稲地128・3  
日米地位協定を見直す会  
共同代表 難波 希美子

●角田市議会議員報酬に関する陳情

角田市角田 星 隆悦

●小・中学校全学年で少人数学級の実施及び特別支援学級の編制基準を8人から6人にすることを求める意見書の提出を求める陳情

仙台市青葉区柏木一丁目2・45  
ゆきとどいた教育をすすめる宮城県連絡会 太田 直道

●奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境税(仮称)等で順次計画的に皆伐を進め、天然林に近い森林に戻すことを求める陳情

兵庫県西宮市分銅町1・4  
一般財団法人 日本熊森協会  
会長 室谷 悠子

平成31年度 各種会計予算総括表

(単位：千円)

会計区分	平成31年度	平成30年度	比較		
	金額	金額	増減額	増減率	
一般会計	12,368,000	12,824,000	▲456,000	▲3.6%	
特別会計	国民健康保険事業	3,341,903	3,394,860	▲52,957	▲1.6%
	後期高齢者医療	342,918	343,877	▲959	▲0.3%
	介護保険	3,157,270	3,071,081	86,189	2.8%
	公共下水道事業	1,285,243	1,569,410	▲284,167	▲18.1%
	農業集落排水事業	107,012	111,705	▲4,693	▲4.2%
	東根財産区	501	501	0	0.0%
	計	8,234,847	8,491,434	▲256,587	▲3.0%
企業会計	水道事業				
	収益的支出	1,125,004	1,113,013	11,991	1.1%
	資本的支出	436,348	512,076	▲75,728	▲14.8%
計	1,561,352	1,625,089	▲63,737	▲3.9%	
合計	22,164,199	22,940,523	▲776,324	▲3.4%	

平成31年度  
予算

保育施設整備事業・道の駅かくだの整備終了の影響  
一般会計 前年度比 3.6%減

▲予算審査特別委員会  
相澤邦戸委員長



2月27日に設置された予算審査特別委員会は、3月12日までの14日間にわたり平成31年度角田市一般会計、各種特別会計及び水道事業会計予算の審査を行いました。

特別委員会において、一般会計・各種特別会計・水道事業会計の趣旨説明・質疑を行った後、細部まで審査を行うため、総務財政分科会・教育厚生分科会・産業建設分科会を設置し、各分科会において審査を行いました。

各分科会の審査内容は、特別委員会において各分科会会長から報告され、表決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

各種会計歳入歳出予算は、左表のとおりです。

分科会  
審査

総務  
財政

移住定住推進事業 (新規)

角田市内の中小企業等の人材の確保を図るため、UI-Jターンによる市内中小企業への就業者の移住支援をするほか、新婚世帯の定住を促進するため、結婚に伴う新生活のスタートに必要な費用を支援するもの。

問

結婚新生活支援事業補助金について説明願う。

答

県の地域少子化対策重点推進交付金(国平成31年度当初予算対応型)を活用するほか、市一般財源も投入し、結婚による新生活にかかる経費の一部(住宅賃借費用・引っ越し費用等)を助成し、若い世代の結婚に伴う新生活に係る支援を行うことにより、経済的負担の軽減を図るものである。

教育  
厚生

総合体育館アリーナ照明設備等改修工事等(新規)

総合体育館のアリーナの照明をLED化すると共に、スポーツ振興くじ「toto助成金」を活用し、バスケットゴールを1対購入する。また、更衣室脇の女子トイレを和式から洋式へ更新等するもの。

問

総合体育館管理運営事業の修繕料について説明願う。

答

女子更衣室脇の女子トイレの改修については、昨年、全日本女子車いすバスケットボール強化合宿において、練習の合間でのトイレの利用が混雑したため、和式トイレを洋式に更新するものである。

また、昨年の落雷で火災報知機が一部故障していることから、アリーナの照明工事での足場を利用し、火災報知機を更新も並行して行う。

産業  
建設

畜産振興事業 (継続)

高能力種雄牛産子雌牛の保有割合を高め、和牛の有力産地としての形成を図るため、優良繁殖雌牛の導入費用の一部を助成するもの。

問

平成29年度に宮城県で和牛の共進会が開催され、角田の牛も優秀な成績を収めた。仙台牛や米沢牛等があるが、「角田牛」というブランドを作ることはできないのか。

答

宮城県の場合は、仙北、仙南、仙台のどこで生産されても仙台牛というブランド名で全国に出荷されている。

角田で生産された牛を「角田牛」として出荷するためには、もっと生産量を上げると共に、ブランド化や販売戦略などの課題もある。



一般質問とは、角田市のさまざまな課題等に対して、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えなどを質問することができます。  
質問した議員ごとに要約してお知らせします。

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
武田 暁	次世代を担う若年層への支援について	6
馬場道晴	風疹の予防接種について その他の質問 ・英語教育の取組みについて	7
黒須 貫	角田市の学校適正規模検討の議論について(再) その他の質問 ・農林業交流事業による賑わいの創出について	7
堀田孝一	ふるさと納税について	8
武藤広一	食品ロスを減らすための対策について	8
日下七郎	再度の角田バイオオマス発電所について 再度の角田バイオマス発電所の撤退の申し入れを市長に求めることについて	9
八島定雄	「国民健康保険税はどうすれば安くなるか」について	9
小湊 毅	角田市の学校給食について	10
八島利美	高校生まちづくりワークショップからの課題解決策について	10
相澤邦戸	中学校の水泳指導について 各学校における学び支援コーディネーター配置事業 〈放課後学習支援について〉	11

議員▼人口減少、晩婚化、未婚化が進む社会への対応策としてとるべきは、結婚や出産がしやすい、子育てしやすい環境を整えることであろうと考える。地元企業等に対し、若年層や新卒者の雇用を促進するための働きかけはどのように行っているのか。

市長▼毎年、仙南地域の市町、高等学校12校、宮城県大河原地方振興事務所、大河原公共職業安定所が連携して、一般社団法人宮城県経営者協会仙南支部に対し、新規高卒予定者及び正社員を目指す若者の採用枠の確保・拡大について要請している。市内においては、誘致企業及び角田市企業立地優遇制度を利用している企業で構成する角田市誘致企業連絡会議において、新卒者を含めた雇用についての情報交換を行い、地元住民の採用をお願いしている。仙南地域の各高校新卒者で就職を希望する方の就職率は、

98・9%であった。角田市在住の方は76人で、全員が就職しており、市内企業に就職された方は16人である。

議員▼高等教育機関、例えば専門学校、大学等を卒業した方の就職率はどのようか。


市長▼そこまでの調査はしていない。

議員▼企業と求職者のマッチングについてどう取り組んでいるか。

市長▼宮城県大河原地方振興事務所主催による仙南地域ものづくり企業説明会や各企業でインターンシップを実施しマッチングの機会をつくっている。一方、企業側では、求人を出しても人が集まらないという課題がある。新卒者は企業の仕事内容がよくわからず、マッチングに至らないということも考えられ、企業とそとの仕事に対する理解を深めて頂くために、来年度は角田市内の企業と仙南地域を中心とした高校生が参加できる就職説明会の開催を計画している。

議員▼近年、県内の複数自治体において、ロタウイルスの予防接種の助成をその程度の差はあれ行っている。角田市においては麻疹・風疹、ヒブ、小児用肺炎球菌等ワクチンについて、小児の定期接種は全額公費負担で行われているが、ロタウイルスワクチンはあくまで任意接種であるため、乳幼児をロタウイルスの脅威から守ることは保護者の経済力に依存する傾向が高い。WHO(世界保健機関)も「世界中の全ての国の予防接種プログラムに導入されるべきである」として推奨していることから、角田市も公費負担すべきと考えるがどうか。

市長▼2回の接種で2万7千円程度必要となり、経済的な負担が大きいのと思われる。全国市長会で定期接種を要望しており、今のところは国の対応を見守りながら判断して参りたい。



## 次世代を担う若年層への支援について

武田 暁



## 風疹の予防接種について

馬場道晴

議員▼我が国における風疹の感染拡大防止に向けた取り組みとして、39歳から56歳（1996年4月2日から1979年4月1日生まれ）の男性の抗体検査と予防接種が、今春から2021年度末までの3年間、原則無料化される。

本市も風疹対策が速やかに実施できる体制を確立していただきたく、これからの取り組みについて問う。

**市長▼**国からの通知等をもとに、6月ごろに抗体検査及び予防接種を実施できるよう、平成31年度補正予算として854万円を3月15日に提案する予定である。対象者は、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性約3、100人のうち、平成31年度は、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日まで、400人である。実施方法は5月中に全国どこの市町村、医療機関、健診機関でも使えるクーポン券、及び受診票等を対象者に送付し、抗体検査は医療機関あるいは特定健診時、事業所健診時に受検していただき、抗体検査の結果、十分な量の風疹抗体がないと判明した方は医療機関で予防接種を受けていただくことになる。

**議員▼**働き盛りの世代なので、平日の日中に受診できない方の対応について問う。

**市長▼**国においては、全国の市町村と全国の医療機関、健診機関との間で抗体検査、予防接種の実施について、集合契約を締結するよう関係機関等に依頼しており、本市も集合契約に参加することで、さまざまな対象者の受診環境等であっても対応できるように調整していく。抗体検査については、特定健診の日程において、一部、夜間及び休日の日程を組んでおり、平日の日中だと都合が悪い方は夜間及び休日の健診日程で検査を受けるよう周知していく。

**議員▼**国保以外の対象者対策について問う。

**市長▼**抗体検査については、正規雇用労働者等が加入する健康保険等被保険者は、勤務先の事業所健診で対応していただく。予防接種については、集合契約に参加することで市外の医療機関でも接種できるようにする。

**議員▼**特定健診に風疹抗体を導入できないか問う。

**市長▼**特定健診時に検査できるように健診実施団体と調整し、実施する方向で考えている。

**議員▼**地元医師会との協力体制について問う。

**市長▼**角田市医師会で風疹の抗体検査及び予防接種の実施を予定している医療機関に対し、集合契約に参加して委託を働きかけていく。



## 角田市の学校適正規模検討の議論について（再）

黒須 貫

**議員▼**検討委員会が7回を重ねた。進捗状況、議論の内容はどうなっているか。

**教育長▼**第1ステップが情報の共有、第2ステップが現状を知る、第3ステップを児童生徒数の減少等の課題の整理、第4ステップで次期将来構想を考へることとしている。第5・6回の小グループでの議論を経て、第7回で将来構想見直しに係る基本方針を議論した。

**議員▼**検討委員会の状況は、どのように市民に周知されているのか。

**教育長▼**会議は市のホームページ（スマートフォンでも閲覧可）で知らせ、会議録は閲覧できる。会議の概要は、学校適正規模に係る保護者アンケートの内容とあわせ、地域や保護者会等で説明している。

**議員▼**今後のスケジュールを問う。

**教育長▼**将来構想見直しに係る基本方針の議論を受け、いただいた基本方針を教育委員会定例会で協議し、教育委員会の基本方針として新年度に地域、保護者等に説明した上で、具体的な学校の再編案やスケジュール等を議論し、今年の12月をめどに次期将来構想を作成したい。

**議員▼**検討委員会の課題は、適正化の中で角田市の教育ビジョンをどのように具現化するかを示すことだと思ふ。一方、学校と地域の関係も重要だ。この2つをどう考えるのか。

**市長▼**将来構想の見直しに係る基本方針の考え方にも、新しい時代に対応した一層質の高い教育環境の整備を図ることの必要性を掲げている。ICT環境での情報教育、大型モニターによる解りやすい授業、特別支援教育

支援員・ALTの配置などがある。極めて小規模の学校では具現化が難しい学校環境づくりを目指している。

一方、学校と地域の関係については、学校が地域コミュニティに果たす役割は一定程度あるが、必要以上に依存する問題もある。今後地域は人口減少、少子高齢化の課題に自らの問題として取り組む必要がある、そのため行政の果たすべき役割として、今後の社会教育の果たすべき役割について議論をスタートする。新しい局面の地域づくりを本格的に議論し、学校と社会教育が教育の両輪となるような教育のまちづくりを行っていきたい。

**教育長▼**教育委員会として、社会教育のあり方、とりわけ、今後学校や自治センターが果たすべき役割、そのあり方について議論していきたい。





## ふるさと納税について

堀田 孝一

**議員**▼平成30年度は、過去最高の寄附額となる見込みであるが、最大の要因は何なのか問う。

**市長**▼平成30年度は、本年2月末現在の寄附申し込み件数が6,511件、金額で2億1,723万5千円となっており、この寄附状況から推測すると、3月までに2億3千万円を超えるの見込みである。

寄附金増加の要因としては、6点ある。①総務省からの是正通知や違反自治体の公表により、高額返礼品を売りにしていた自治体が少なくなり、均一化されたこと。②人気のアイリスオーヤマ製品を返礼品として取り扱ったこと。③新たに角田産の仙台牛を返礼品にラインアップしたこと。④ふるさと納税申込ウェブサイトを1カ所から6カ所に拡充し、ウェブサイト決済を積極的に導入したこと。⑤給与所得者が確定申告不要となるワンストップ特別減税申

請が寄附者に浸透したこと。⑥商品調達額の調査を行い、調達額の低額化を図ることで返礼品のお得感が増えたことなどが挙げられる。

**議員**▼今年4月から、ふるさと納税額の一層の確保を図るために、ふるさと納税係を新設することだが、体制及び具体的な業務内容について問う。

**市長**▼平成31年度からは、ふるさと納税事業に特化して取り組む体制をつくることとしており、商工観光課にふるさと納税係を3人体制で新設することとしている。

業務内容は、地場産品の商品開発を強化し、返礼品の充実を図るとともに、専用サイト及び、市ホームページ等の活用により、返礼品やふるさと納税の使途等について積極的なPR活動を行うことに加え、これまで納付いただいた方々の情報管理を徹底し、再度の納税を促すためのお知らせ等を送付することにより、

角田市へのリピーターをしつかり確保し、納税額のより一層の増額を実現していく。

**議員**▼財源確保は、市全体として考えていかなければならないことであり、寄附金を増やすためには本市の誘致企業に勤務されている市外の方々に対して、機会を通じてお願いすることも一つの方法であると考えます。また、市外に居住されている職員の方々にもご協力をいただくことも必要であると考えますが、市長の見解を問う。

**市長**▼市外から角田市に通勤されている方々にふるさと納税をしていただくことは有難いことだが、通勤のお膝元の市長、町長のことを考えれば、簡単には話せないことである。公の席では難しいが、個別には少し考えておきたいと思う。職員については、ふるさと納税の事業を理解することが必要なことから、率先して行うよう協力を求めている。

**議員**▼石巻市では、「もったいない!食べ残し!30・10(さんまるいちまる)運動」周知キャンペーンとして、宴会編や家庭編、パンフレットを作成している。

宴会編では、「宴会のはじめと終わりは席で食事」を30・10運動」と称して、「幹事さんの声かけで、はじめの30分間と終

了前の10分間は自分の席で美味しい料理を楽しみましょう」と、また、「食べきれない料理は仲間分け合いましょ」と、「それでも食べきれなかった料理は、お店の方に確認して持ち帰りましょ」となど周知をしている。

**家庭編**では、「毎月10日、30日は冷蔵庫の中をチェックしましょ」30・10運動」と称して、「冷蔵庫の中に、使いかけたまま忘れられた食材や、賞味期限・消費期限が切れてしまったものはありませんか。家庭から出る生ごみの中には、食べ残しや手付かずの食品がたくさん含まれています」ということで周知している。

また、パンフレットにも掲載するなど、市民へ広く周知をしている。そこで、角田市でも食品ロス削減に取り組むとして、「30・10運動」を実施してはどうかと考えるが、市長の所見を問う。

## 食品ロスを減らすための対策について

武藤 広一



**市長**▼まだ食べられるのに捨てられてしまうのが食品ロスであり、国の推計では年間600万トン以上の食品ロスが発生しており、社会的に大きな問題となっている。

ただけるように、周知・啓発していきたい。

**議員**▼食品ロスの問題は、教育という観点から学校だと認識するが、角田市学校給食センターから廃棄される食べ残しは年間どれくらいあるのか。

**教育長**▼平成29年度の年間残食量は31トンで、残食率は12%である。

**議員**▼石巻市を例にとると、家庭編を参考に、学校での取組みの他に家庭において、親子で話し合うきっかけになればいいと思うが、教育長の所見を問う。

**教育長**▼食に関する指導の一つとして、食べ物に感謝する心を育てることに取組んでいる。例えば、食べ物には命があることや、多くの人の手がかかわっていることを理解し、感謝して食べる心情を育てる指導を行っている。

家庭においても、「30・10運動」の目標である「もったいない食べ残しをなくすこと」について、親子で話し合い、実践する機会があれば、子どもたちに感謝の心が育ち、また家事を手伝う習慣を身につけさせることもできるので、市長部局と所管課と連携しながら対応を検討したい。





## 再度の角田バイオマス発電所について

日下七郎

議員▼「合同会社GIBIO角田梶賀 職務執行者」は「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」(以下「特別措置法」という)第9条第2項の発電事業計画(所在地 角田市梶賀字高畑北174他21筆・バイオマス発電設備・発電出力41,100kW)を経済産業省に申請し、認定事業

者となつて、「固定価格買取制度に基づく再生可能エネルギー発電事業の認定発電設備」の標識を掲示しているが、この職務執行者は平成30年4月に死亡とのことで、特別措置法第10条第3項の規定によると、遅滞なく申請者・職務執行者の変更届を提出するとなつてい

一方、第395回定例会一般質問での市長答弁「…、現事業者H・I・S・SUPER電力株式会社代表取締役社長の赤尾様から説明を受けており…」とのことだが、現事業者は、特別措置法第9条第2項の規定による発電事業計画の申請をしていない。

よつて、GIBIO角田梶賀発電所の事業者が不明と思われるが、市長の答弁を求める。

市長▼固定価格買取制度に基づく再生可能エネルギー発電事業の認定発電設備の標識の掲示については、議員が指摘の通り不備であるので、改めて事業者に指摘する。

再度の角田バイオマス発電所の撤退の申し入れを市長に求めることについて

議員▼GIBIO角田梶賀発電所は、アブラヤシの実から取れるパーム油

を燃料とし、ディーゼルエンジン発電機(4基)・廃熱回収発電機(1基)を稼働すると事業者から説明があった。しかし、パーム油の生産において、泥炭地開発、農園開発に伴う森林火災の発生や、それらに起因する温室効果ガスの排出、世界有数の生物多様性を持つ熱帯林の減少等、深刻な環境への影響が指摘されてお

市長▼第395回定例会でお答えしている通りであるが、この事業については、環境に配慮したRSPO国際認証制度の認証を受け、環境に配慮して精製されたRBDパーム油を利用するとの説明を受けている。角田市で行う発電事業が直接パーム油原産国の自然環境等へ悪影響を及ぼすことは無いものと認識している

また、保障されている企業活動を行政が理由・根拠なく阻害することは許されるものではないので、撤退を申し入れる考えはない。

議員▼「国民健康保険の構造問題(構造的矛盾)」について、市長の認識を問う。

市長▼国民健康保険の構造問題について、1つ目は、年齢構成が高く、医療費水準が高いこと。2つ目は、所得水準が低く、保険税負担が重く、保険税の収納率が低いなど財政基盤が脆弱であること。そして、3つ目は、財政運営において市町村間格差があるという問題がある。

議員▼国保は国民皆保険を支える最後のセーフティネットという位置づけで、これまで進んできたと考えるが、市長の所見を問う。

市長▼この国民健康保険制度、世界に冠たる制度だと認識している。最後のセーフティネットそのものだ

議員▼保険税が著しく高くなる大きな要因の一つには、国保にしかない均等割(家族の数に応じて



## 「国民健康保険税はどうすれば安くなるか」について

八島定雄

かかる保険税)、平等割(各世帯に定額でかかる保険税)にある。国保加入世帯で、家族の数、特に子どもの数が多く均等割額の負担の高い事例を問う。

市長▼事例の1つ目は、被保険者数が6人で、うち18歳未満の子どもが4人の世帯では、年税額が43万2,500円で、うち均等割額は16万8千円となる。2つ目は、被保険者数が6人で、うち18歳未満の子どもが4人の世帯では、2割軽減となり、年税額が37万2,500円で、うち均等割額は14万400円。3つ目は、被保険者数が11人で、うち18歳未満の子どもが7人の世帯では、5割軽減となり、年税額が18万8,600円で、うち均等割額は15万7,750円になる。

議員▼非常に高いと感じる。東京都清瀬市では、2018年度から5年間

としつとも第2子以降の子どもの保険税の均等割額を最大で半額にする軽減制度を導入。仙台市は所得制限なしで国保に加入する全ての子ども均等割額を一律3割減額する。また、岩手県宮古市では、全ての子ども均等割額の減免を来年度から実施する(予算額1,833万円)という事例がある。このような動向について、どのように見ているのか。

市長▼このような子どもが多い世帯についての税の軽減は、財政的にそれが可能だという状況ではやぶさかではないと思つている。仙台市、宮古市等々の事例を挙げられているが、当該市の財政状況は、角田市と比較して、どのように違つのか分からない。いろいろ調査し、可能であれば角田市でも考える時期がくるかも知れない。



角田市の学校給食について

小 湊 毅

議員▼平成31年度より、給食費を小学校は20円、中学校は22円値上げし、1食当たり小学校は277円、中学校は330円にするとの説明であった。理由は、米と牛乳の値上がり、消費者物価指数から判断したおかず代の上昇見込み、そして光熱水費等の一部負担とのことである。平成25年に米飯をセンター方式にするか外部委託方式にするのか検討され、その際の説明では、どちらの方式にしても給食費の値上げは行わないとの説明であった。内訳を見ると、小学校はセンター方式だと御飯代が30.17円、おかず代が176.46円、外部委託方式だと御飯代が64.02円、おかず代が142.61円、このおかず代で給食を提供できるという説明を受けている。

学校が216.81円とし、その料金の中で献立づくりを行い、安定的な運用を確保してきた。この実際の給食費を基準として値上げを検討することは妥当なものであり、近年物価の高騰に対応できなくなっている現状からしてやむを得ないものと考えている。

質問▼光熱水費等の一部負担として、1食当たり10円を新たに追加するとある。宮城県内で食料費以外を給食費に乘せている自治体はない。

質問▼全国的に光熱水費の一部負担を保護者負担としている例があり、高知市で行っている。御飯をつくるに当たって、食料費だけの負担を保護者の方にお願いしてきたが、実際には光熱水費がかかっているのか、これを外部委託すれば、当然光熱水費を含めた委託料ということになるので、その差額分を一部負担して頂くという考え方に

なつたわけで、特別なことではない。

質問▼角田産ひとめぼれを給食に出すと決めたのは市の政治的な判断である。角田産米のブランド価値を上げるための一環であるはずで、その効果もあり、角田産ひとめぼれはブランド価値が上がって、米価全体の価格が下落する中、値上がりしてきたことは非常に喜ばしいことである。しかしながら、このために給食費の値上がりが生じ、それを負担するのは保護者の方に成るといふこと、とても納得できるものではない。

市長▼米代の値上がり分は、行政で負担すべきということであるが、角田市のブランド米を誇りに思うということであれば、またこれを継続していくには保護者にも負担して頂き、子ども達に食べてもらうことを、みんなで大事にしていく姿勢が重要だと思っている。

議員▼若者が地元就職できるような企業誘致対策を問う。

市長▼産業振興及び雇用確保のため継続的に取り組むべきだが、早期誘致は困難なので、当面は既存の企業に雇用を増やすよう随時働きかけたい。

議員▼経営者・起業家支援対策を問う。

市長▼融資斡旋、利子助成、経営安定化支援等を

高校生まちづくりワークショップからの課題解決策について

八 島 利 美



議員▼若者が子どもを産み育てるための子育て支援策を問う。

市長▼乳児家庭全戸訪問事業、母子健康手帳交付時妊婦面接相談等を実施し、医療機関や関係課と連携し、サービス利用につなぐなど保健師等の支援を継続すると共に、子育て世代包括支援センター事業を実施し、今後より一層の相談体制の強化とサポート体制の充実を図りたい。

議員▼医療費助成の改善策を問う。

市長▼18歳までの子ども医療費の無償化をしているが、財源確保のめどがつかない。所得制限の撤廃も進めたい。

議員▼地域の足を確保するための「公共交通対策」を問う。

市長▼阿武隈急行は沿線人口の減少や施設等の老朽化により、苦しい経営状況が続いている。7月に新型車両が運行するのを、利用促進につなげて、バスも重要だが、





## 中学校の水泳指導について

相澤邦戸

議員▼子ども達には、多くの体験をさせてやりたい。その中から、子ども達自身が選択をし、豊かに成長して欲しいと考え、プールの故障等により、十分な時間が取れない状況について問う。

教育長▼金津中学校は、角田市屋内温水プールを使用し、1・2年生のみ年間12時間、北角田中学校は企業の施設を借りて

全学年で年間4時間、角田中学校は行っていない。事故防止に関する心構え、応急手当の指導は行っている。

議員▼角田中学校は、どのような理由で水泳指導を行っていないのか。

教育長▼学習指導要領で、1・2年生で履修すること、3年生は履修選択となっており、ただし書きで適切な水泳場の確保が困難な場合は、取り扱わないことができるとなっている。

議員▼角田市内には温水プールがあり、利用している中学校もある。また、プール等送迎業務委託料として平成30・31年度の予算に計上されている。角田中学校でも水泳指導を行って欲しいと思うが、考えを問う。

教育長▼学校それぞれで特色を生かすための教育活動をしている。教育計画全体の配慮を尊重したい。水泳実施指導も考慮すべきという形での指導はできる。

各中学校における学び支援コーディネーター配置事業  
～放課後学習支援について～

議員▼子ども達の心身ともに豊かな成長を願う一つに学習に対する意欲と学力の向上がある。学び支援員が各中学校に派遣され、子ども達の学習を支援している「支援員派遣の現状」について問う。

教育長▼学び支援コ

ディネーターが1人と学び支援員が24人おり、要請に応じて各学校に行く。今年度1月末までの実績は、合計で角田小学校10人、横倉小学校33人、枝野小学校147人、藤尾小学校69人、東根小学校11人、桜小学校44人、北郷小学校38人、西根小学校11人、角田中学校57人、北角田中学校19人となっている。

議員▼子ども達や家族からどのような反響を得ているか。

教育長▼参加した児童・生徒のアンケートから、進んで楽しく支援員と一緒に学習できた等との回答が、90%以上という結果が出ている。

議員▼各学校によって、配置派遣員の数がずいぶん違うが、どのような形で行っているのか。

教育長▼各学校の要請と支援員の都合を聞いているが、現実には当日変わることもあるので調整役は大変である。登録制ではない。

議員▼地域の方々も子ども達の学力向上に支援できる良い事業だと思っております。今後さらに進めていきたいと思います。考えを問う。

教育長▼この事業は、国の財政支援で行っており、来年度で終わるものでありますが、今後も考慮し、できれば具体化していきたい。

### 議員定数を2人削減し16人へ

議員定数、議員報酬及び政務活動費については、角田市議会で協議を重ねた後、平成30年12月21日から平成31年1月11日まで、「議員定数、議員報酬及び政務活動費改正についてのご意見（パブリックコメント）」を実施し、29人の市民の皆様から、延べ76件のご意見をいただきました。これらのご意見を踏まえて、更に議会運営委員会や議員協議会において協議を重ね、角田市議会第396回定例会（最終日）において、本年9月15日投・開票予定の市議会議員選挙より、議員定数を、現行の18人から2人削減し、16人とする条例改正案を賛成多数で可決いたしました。なお、議員報酬及び政務活動費については、今回は改正案の上程を見送り、引き続き議会において検討していくことになりました。

今後、更なる議会改革に取り組んでまいりますので、市民の皆様からのご意見をお願いいたします。

市民の皆様から頂戴したご意見（パブリックコメント）と、それに対する議会としての考え方を市のホームページに掲載いたしましたので、ご覧ください。

多くの貴重なご意見をいただきました。誠にありがとうございます。

<http://www.city.kakuda.lg.jp/gikai/page00089.shtml>

### 議会日誌

- |     |    |   |
|-----|----|---|
| 25日 | 1月 | 会派代表者会議   |
| 1日  | 2月 | かくだ市議会だより201号発行<br>全員協議会・会派代表者会議<br>議会運営委員会<br>交通安全講習会・議員研修会<br>第396回定例会招集告示<br>会派代表者会議<br>議員協議会・議会運営委員会<br>本会議（第1日）<br>会派代表者会議<br>議会運営委員会<br>本会議（第2日）<br>予算審査特別委員会（第1日）<br>議員協議会 |
| 27日 | 3月 | 議会運営委員会<br>本会議（第3日）<br>予算審査特別委員会（第2日）<br>予算審査特別委員会（第3日）<br>会派代表者会議<br>議会運営委員会<br>予算審査特別委員会総務財政・産業建設分科会<br>6日  |
| 7日  |    | 予算審査特別委員会教育厚生分科会  |
| 8日  |    | 総務財政・教育厚生常任委員会  |
| 13日 |    | 予算審査特別委員会（第4日）<br>議員協議会・議会運営委員会<br>本会議（第4日）<br>本会議（第5日）<br>議会運営委員会<br>本会議（第6日）<br>議会運営委員会   |
| 15日 |    | 議会だより編集会議   |
| 11日 | 4月 | 議会運営委員会<br>議会だより編集会議  |

# ～農林業系廃棄物の試験焼却を調査～

東日本大震災に伴い発生した、東京電力福島第一原発事故による放射能汚染について調査するため、市議会に設置されている「東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射能汚染に関する対策調査特別委員会(全議員で構成)」は、平成31年2月13日に、これまで試験焼却が行われてきた農林業系廃棄物(放射性濃度の合計が8,000Bq/kg以下のもの)の試験焼却結果の確認と、本年5月より予定されている本焼却に関する実施計画について説明を求めため、西根地区にある仙南クリーンセンターの現地視察を行いました。



当日は、施設の設置者である仙南地域広域行政事務組合の担当職員より、試験焼却を行った結果、排ガス中の放射性セシウム濃度や空間線量率などについては、すべて国の環境管理基準以下であったとの説明を受けました。

また、試験焼却の結果、安全に農林業系廃棄物の焼却が実施できると判断したことから、今年度は、角田・白石市内で保管されている堆肥(2,146t)を一日当たり10tずつ本焼却する予定であるとの説明を受けました。

説明の後、住民の不安払しょくに関することや、排ガス測定機器の信頼性などについて質疑応答が行われました。

今後も、焼却に伴う安全性の確保を実施者に求めていくとともに、市議会としての調査活動を引き続き行ってまいります。

## 風しんの抗体検査・予防接種

角田市議会第396回定例会最終日に、風しんの抗体保有率が他の世代に比べて低いとされる対象の方に対し、原則無料で抗体検査・定期接種を実施するため、平成31年度角田市一般会計補正予算(第1号)が提案(854万円の追加)され、審議の結果、原案可決しました。

**対象の方**  
昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性の方(3カ年で順次行う)

**今年度対象者は、昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性の方**

### 実施方法

クーポン券及び受診票等を対象の方へ5月上旬に送付し、左表により、抗体検査・予防接種を実施する予定です。

抗体検査の結果、十分な量の抗体があることが判明した方は、予防接種を行う必要はありません。

### 風しんの抗体検査・予防接種実施方法(S47.4.2～S54.4.1生まれの男性の方)

対象の方のうち	実施機関	
		抗体検査
住民	市内外の医療機関	
自営業者等	特定健診時(国保加入者)	市内外の医療機関
正規雇用労働者等	事業所健診(健康保険等加入者)	

## 編集後記

かくだスポーツビレッジ付近に『道の駅かくだ』が4月19日にオープンしました。角田産の地場産品をはじめ、「3つの“め”(米・豆・梅)」などを使用した「角田」でしか買えない加工品にも注目です。

さて、角田市議会第396回定例会において、議員定数を現行の18人から2人削減する条例改正案を可決いたしました。本年10月には、新たに選出された議員16人が、市民の皆様から、より多くの声を受け止め、今以上に市政に反映させる仕組みづくりを構築してまいります。

議会だより編集会議  
委員 馬場 道晴

## 議会を傍聴しませんか。

### 6月定例会の予定

会期 6月10日(月)～6月27日(木)

本会議の日程(午前10時開会)	
10日(月)	提案理由の説明
19日(水)	質疑・自由討議
25日(火)	討論・表決・一般質問
26日(水)	一般質問
27日(木)	最終日

請願・陳情の提出は  
6月3日(月)まで

## ライブ・録画配信をやっています

<http://www.kakuda-city.stream.jfif.co.jp>

インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでもライブ中継がご覧になれます。

また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。



### 第396回(平成31年2月)定例会

傍聴者数 4人  
インターネットライブ中継視聴者数 延べ157人

### インターネット録画中継視聴者数

1月～3月 延べ531人